

地震の予知について

【1】 地震学会の HP に示されている「地震に関する FAQ」での回答
([地震に関する FAQ | 公益社団法人 日本地震学会 \(zisin.jp\)](#))

質問：「地震予知に対する地震学会の立場を教えてください。」

回答：

「現時点で、地震予知（警報につながるほど確度の高い地震予測）を行うのは非常に困難であると考えています。科学的に検証され、確立された地震予知手法はまだないという立場です。ただし、将来的に地震予知はできないとの意見を表明しているものではありません。地震学会としては、引き続き、地震予知研究を行う研究者達の議論や意見交換を行える場を提供します。

注意：（地震に関する FAQ は日本地震学会としての統一見解ではなく、読者の理解の一助として広報委員会が整備したものです。イニシャルがついていないものは広報委員会による回答。イニシャルがついているものは個人の回答です。）

参考：地震予知学会という学会があります。

「日本地震予知学会は、地震の先行現象を総合的に、また学術的に議論し、地震の短期予知の実現に貢献したいとの強い思いで設立したものです。」

例えば、令和 5 年 1 2 月には、次のような講演会が行われています。

関西サイエンス・フォーラム地震予知研究公開講演会

ーここまで来た測地衛星（GNSS）を用いた地震発生直前の異常抽出と未曾有の被害となったトルコ地震の全容ー

参考：「前兆現象と地震の発生との関係」←私見です。

前兆といわれる現象および地震発生の組み合わせには、次の4つがあります。

パターン1 前兆といわれる現象**あり** 地震発生**あり**

パターン2 前兆といわれる現象**あり** 地震発生**なし**

パターン3 前兆といわれる現象**なし** 地震発生**あり**

パターン4 前兆といわれる現象**なし** 地震発生**なし**

パターン1：

興味深い事例です。

パターン2：

SNSなどで よく見かけるパターンで、前兆といわれる現象（例えば、深海魚が打ち上げられた）があると、「地震の前兆現象だ！」と報じられることがあります。しかし、地震が起きなかった時には、何も言われなくなります。

パターン3：

地震が起こった後に、「そういえば、〇〇〇〇があったなあ！」と言われる場合が多いと思います。

パターン4：

平常の場合です。

芦屋川カレッジの場は、うまく答えられていませんでしたので、補足いたします。